

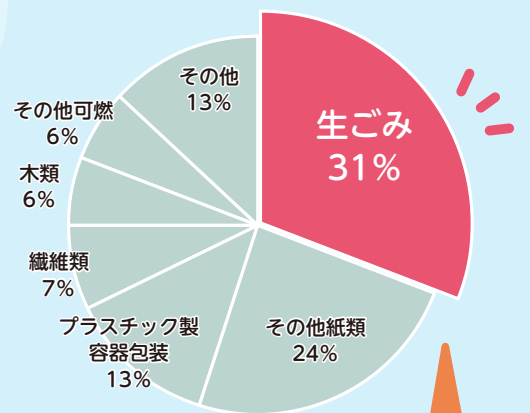
特集 FOOD CYCLE PROJECT 生ごみは堆肥へと変わり、食料の循環を促していく

減らそう、生ごみ。 守ろう、地球環境。

地球温暖化防止のため、市民の皆さんとともに、二酸化炭素などの排出削減に取り組んでいます。家庭から出る焼却ごみの約30パーセントが生ごみで、最も高い割合を示しています。各家庭での生ごみ削減の取り組みは、生ごみを焼却することで発生する二酸化炭素などの削減や、ごみ焼却炉への負担を減らすことにつながります。

担当 資源対策課 ☎046(252)7985 (FAX)046(252)7616

令和3年度座間市家庭系可燃ごみ



家庭ごみの3割が生ごみです

令和5年度 フードサイクルプロジェクト 市民モニター募集

内容 バッグ型コンポストを利用し、日々家庭から出る生ごみを堆肥に変え、生ごみの排出ゼロを目指す

対象 説明会（4月15日(出)ハーモニーホール座間大会議室）および中間交流会（7月1日(出)開催予定）などのイベントに参加できる市内在住300世帯

申込 3月15日(木)までに市LINE公式アカウントから申し込み（「申請」→「申請する」→「届出・申込・登録」→「申込」→「フードサイクルプロジェクトモニター募集」）（申込多数の場合は回収効率の観点などから選定）



市LINE
公式アカウント

※同一世帯で複数名の応募はできません。

※説明会、中間交流会などで、バッグ型コンポストなどを配布します。

※堆肥化する日々の生ごみの量の記録やアンケートへのご協力をお願いします。

※中間交流会などで、コミュニティイベントを実施する予定です。



バッグ型コンポスト



中間交流会の様子

LINEアプリのインストール・登録方法は次の2次元コードを読み取りご確認ください。



市ホームページ

LFCコンポスト

フードサイクルプロジェクトにモニター登録された方には、ローカルフードサイクリング株式会社（以下、LFC）製のバッグ型コンポストを無償貸与します。酸素と水を消費して微生物が生ごみを消す仕組みを活用し、熟成を経て堆肥を作ります。

「虫や臭いが不安」といった初めての方の疑問などにLFCスタッフが丁寧に答えます。

未来の
モニターの
皆さんへ

LFCからのコメント

毎日3回出る生ごみには、野菜が大きくなる栄養が詰まっています。土に戻すことができれば、ごみも減って地域の中で持続可能な食の仕組みができます。

バッグ型コンポストは、長年の経験を生かして虫の予防や臭いが出にくい設計になっています。電話やLINEでもサポートしますので、初めての方でも、気軽にチャレンジしてみてください。



LFC代表
たいら由以子さん

令和4年度 フードサイクル プロジェクトの実績

説明会	令和4年7月24日	165人
中間交流会	令和4年8月27日	160人
交流会	令和4年12月18日	13人
終了の会	2月12日	70人
渡したもの	バッグ型コンポスト、基材、取扱説明書、回収用麻袋	
受け取ったもの	堆肥回収（1回目） 令和4年10月24日～11月30日 ※回収した堆肥223袋、堆肥の重量685キログラム。 堆肥回収（2回目） 1月23日～2月28日	